

## 人民大衆中心の社会主義を建設した金日成主席の業績

チュチェ思想研究ネパール社会主義記者フォーラム書記長  
トゥルシ・ダス・マハルジャン

朝鮮人民は長期且つ困難極まりない武装闘争を行い、日本の植民地支配を覆しました。その闘争は朝鮮で植民地主義と封建主義を終わらせた革命でした。1948年に朝鮮民主主義人民共和国が創建されました。

これはすべて朝鮮人民によって運営され維持される民主主義的政治体制を立てたということを意味します。共和国が創建されてから朝鮮革命はいくつかの段階を経て前進し、現在、人民大衆中心の社会主義体制を強化する段階にいたりました。

われわれは金日成主席が朝鮮革命をその開拓期から指導したことについて知っています。金日成主席は常に人民の中におられ、彼らの意見と経験に耳を傾けました。

人民の見解と経験に基づいて金日成主席は革命の原理を明らかにしました。金日成主席が定立した思想がほかならぬチュチェ思想です。

チュチェは朝鮮語です。チュチェという言葉は、革命と建設の主人は人民大衆であり、革命と建設を推し進める力も人民大衆にあるという思想を表す述語です。言い換えれば自己の運命の主人は自分自身であり、自己の運命を切り開く力も自分自身にあるという思想を意味します。

チュチェ思想は人民大衆中心の思想です。朝鮮革命はほかの国で遂行された革命とは異なる自己の固有な特徴を持っています。

それゆえ朝鮮革命はすべての問題を自力で自主的に解決しなければなりませんでした。金日成主席はそれについて痛感し、それをチュチェ思想で解明しました。

チュチェ思想を基礎にして朝鮮人民は帝国主義侵略勢力に反対する戦争を繰り広げました。チュチェ思想は朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国、朝鮮人民をして政治、科学と技術、文化と国防分野で進歩を成し遂げるようにした、闘争の旗印でありました。

今日、チュチェ思想は世界に人間中心の哲学として、人間を世界でもっとも貴重で有力な存在として押し立てる思想として知られています。

チュチェ思想は自主性、創造性、意識性が世界を支配する人間の固有な属性であると明らかにしています。

朝鮮民主主義人民共和国の社会主義はチュチェ思想を指導思想としています。それは 朝鮮民主主義人民共和国が人間中心の社会主義であることを意味します。朝鮮民主主義人民共和国の現政治体制で人民は中心に置かれています。

明白にいつてチュチェ思想は政治における自主、経済における自立、国防における自衛として具現されます。朝鮮革命の全路程はこれらの原則を具現するための不屈の闘争です。

革命の基本目的は人民大衆が社会の真の主人として自主的で創造的な生活を営むようにすることです。そのためには人民が国家主権の主人にならなければなりません。

朝鮮労働党は朝鮮民主主義人民共和国の政権党です。朝鮮労働党は朝鮮の労働者階級をはじめ全人民大衆を組織化し彼らに奉仕します。

金日成主席のすべての活動は人民大衆を中心に据えたものでした。それゆえチュチェ思想を指導思想とする朝鮮の社会主義は人民大衆中心の社会主義になるのです。

いいかえれば 朝鮮民主主義人民共和国の人民大衆中心の社会主義は、金日成主席によって建設されたと言うことができます。

人民大衆中心の社会主義建設に積み上げた金日成主席の業績は、チュチェ思想を創始することにより人民が社会主義を建設し守るための活動で決定的役割を果たすようにし、社会のすべてが人民のために奉仕するようにしたことです。